

濟々鬘 SNS 利用 3 箇条

載せない

- 他人の個人情報・写真は絶対に載せない。
- 自分の個人情報・写真を安易に載せない。
- 誹謗・中傷はしない。

応えない

- 挑発的な発言・投稿に同調しない、影響されない。
- 知らない人からの誘いにのらない。
- SNS で知り合った人と直接会わない。

信じない

- 発信元が不明な情報を信じない。
- その人はなりすましかもしれない。
- 全てを鵜呑みにしない。

以上を
「正倫理 明大儀」
「重廉恥 振元氣」
「磨知識 進文明」
の三綱領精神を尊ぶ
濟々鬘生
SNS 利用 3 箇条とします。

平成 26 年 6 月 23 日 濟々鬘高校生徒一同

※ SNS とは…《 social networking service 》個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。MySpace、Friendster、Facebook、orkut、Cyworld、mixi、GREE、Yahoo! Days、Last.fm、Twitter など。



全校生徒を対象に開催された「SNS情報教育講話」(上)や、親子でのルールづくりの推進など、SNSにまつわるさまざまな取り組みが行われている



携帯、スマホの利用、地域・学校でルール作り

スマホや携帯電話を使って日常的に情報交換する子どもたちが増える中、長時間利用や中の書き込みが問題になるケースも見られます。そこで、ルール作りで生徒自ら取り組んだ事例や、地域での取り組みを紹介します。



ネットいじめの話題 事件発生がきっかけに

済々黌高には、生徒が自ら定めた「SNS利用3箇条」があります。「載せない、応えない、信じない」。同校の生徒会メンバーが考えたものです。

生徒たちが自ら作った「SNS利用3箇条」

県立済々黌高校

きっかけは、今年6月に熊本市で開催された「心のきずなを深めるシンポジウム」。県内小中高の児童・生徒の代表者や教職員が集まり、いじめをなくすための行動計画・指標を作成しました。同校からは2年生の本田彩夏さん(17)、村上柚衣さん(17)、田村誠崇さん(17)が参加。

その後、「シンポジウムでネットいじめの話題が出たことや、SNSを通じた事件があったことから、ネット利用のルールを考えよう」と参加メンバーを中心とした5人でルール作りに取り組みました。

文言に生徒からの強いメッセージも

「素案のままでも」という思いもありましたが、結局私の案はほぼボツになりました。素案にはなかった「信じない」など、大人がドキッとするような、強いメッセージが入っています」と波村先生。本田さんは「事件などから、『信じない』ことも必要だと感じました」と話しています。

ルール作り際しては、生徒会担当の波村知明先生(41)の手による素案のもとに、メンバーが議論。いじめなどの実例を取り上げながら問題点や改善案を話し合い、3つの言葉に集約しました。

済々黌 SNS 利用 3 箇条

載せない

- 他人の個人情報・写真は絶対に載せない。
- 自分の個人情報・写真を安易に載せない。
- 誹謗・中傷はしない。

応えない

- 挑発的な発言・投稿に同調しない、影響されない。
- 知らない人からの誘いにのらない。
- SNSで知り合った人と直接会わない。

信じない

- 発信元が不明な情報を信じない。
- その人はなりすましかもしれない。
- 全てを鵜呑みにしない。

以上を、
「正倫理 明大儀」
「重廉恥 振元気」
「磨知識 進文明」
 の三綱領精神を尊ぶ
 済々黌生 SNS 利用 3 箇条とします。



僕たちの議論の結果です！

「SNS利用3箇条」の作成メンバーの村上柚衣さん、田村誠崇さん